

平成29年度事務事業評価シート(28年度実績)

◎基本情報

事務事業名	公共下水道整備事業(汚水)		担当部署	経済建設部 下水道課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	都市計画法・下水道法・鳴門市 下水道条例	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業 期間	開始	平成 <input type="text" value="13"/> 年度
政策(中項目)	3	身近に自然を体感できるまち なんと			終期
(小項目)		生活排水対策			
施策	3	生活排水対策の推進			
基本事業	1	公共下水道事業の推進			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 第1期・第2期事業区域(斎田・南浜・小桑島・大桑島・黒崎)の一部						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	下水道の整備を進めることにより、地域の生活環境や公共用水域の水質改善を図る。						
事業計画	28年度に何を計画していたか	第2期事業区域のうち、大桑島、黒崎地区の整備を進める。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
		下水道普及率	9.5	10.0	9.8	10.2	10.7	%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	28年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	国庫補助金(社会資本整備総合交付金)を活用して、下水道整備に係る管渠築造工事・舗装復旧工事を実施した。					
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		27年度実績	28年度実績	29年度目標	30年度目標	31年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 整備面積	141.3	150.9	146.0	153.0	160.0	ha
	2						
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	下水道普及率	8.8	9.3	—	—	—	%
	目標達成率(実績/目標)		93.0	—	—	—	%
今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況			計画どおり		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成28年度	当初予算額	111,000	0	180,000	23,623	66	314,689
		補正予算額	0	0	0	0	52	52
		繰越予算額	58,500	0	92,400	0	6,794	157,694
		全体予算額	169,500	0	272,400	23,623	6,912	472,435
		決算額	105,656	0	144,500	26,449	19	276,624
		繰越額	60,000	0	118,400	0	16,125	194,525
		人件費	正規職員(7,133千円/人)	臨時職員(2,043千円/人)	総人件費		総事業費	
		4.0	0.0	28,532		305,156		

【鳴門市行政評価】

【事務事業名：公共下水道整備事業(污水)】

事業費推移	年度	27年度決算	28年度決算	29年度	30年度	31年度
	事業費	320,922	276,624	500,300	305,775	305,775
	うち一般財源	0	19	25,945	9,820	9,820
	人件費	27,436	28,532	28,532	28,532	28,532
	総事業費	348,358	305,156	528,832	334,307	334,307

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		「鳴門市污水処理構想」および「鳴門市生活排水対策推進計画」に長期目標を定めている事業である。
	効率性	B:概ね効率的だった		関係機関との協議に長期を要するため繰越はあるが、国庫補助金の内示額を含め、概ね効率的であった。
②成果に対する評価	指標名	下水道普及率		下水道の普及率は、整備箇所の状況や国庫補助金の内示額により左右されるが、概ね目標を達成できた。
	目標	10	%	
	実績	9	%	
	評価	B:概ね目標を達成できた		
③総合的な評価		A		目標である下水道普及率の達成状況や有効性・効率性からA評価とした。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	本市の公共下水道事業は、県と旧吉野川流域地区の2市4町で構成された「旧吉野川流域下水道」として広域的に実施している事業であり、見直しについては県、流域関連市町とも十分な議論が必要である。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H29年度	国庫補助金(社会資本整備総合交付金)の内示額を基準とした事業規模で、下水道整備を進めていく。			
	H30年度	国庫補助金(社会資本整備総合交付金)の内示額を基準とした事業規模で、下水道整備を進めていく。			